

2020年5月27日

愛西市長 日永貴章様

愛西市日本共産党議員団
河合克平
真野和久
加藤敏彦

新型コロナウイルス感染症に対する対応の申し入れ

国の緊急事態宣言は解除され、愛知県は5月26日に緊急事態宣言の解除となりました。愛西市は、感染者がない状況が続いています。

野党や広範な国民がもとめた国の10万円の特別給付金申請がはじまりました。愛西市では、これまで申し入れた独自施策を盛り込んだ補正予算が5月25日の6月議会で提案され、採択されました。

給付、補助事業は、簡易で迅速に支援が行われることが緊急に必要です。
今後の市の取り組みについて申し入れます。

- 1、10万円の特別給付金の申請書は5月15日に発送され、申請書を返送し、給付を待っている人からは、いつになるのかとの問い合わせが増えています。
現在17000世帯を超える申請書がとどき、900世帯の給付をおこなったとの状況を確認しましたが、このペースでは市民の切実な状況に対応できません。
早急に対策を講じ、すみやかに給付を行うこと。
- 2、緊急事態宣言が解除されるなか、第2波、第3波にそなえ、早急にPCR検査体制の拡充を図ることを行わなければなりません。しかし、津島保健所管内では、医師の紹介があっても検査をしてもらえないとの声が届きます。
管内に発熱外来やドライブスルー形式の検査窓口の設置など体制を強化することを愛知県に強く申し入れること。
- 3、市の独自支援策は様々な給付、補助、事業を行うことはとても評価できることです。
これらの事業のわかりやすい周知と迅速な給付を行うこと。また、高等教育を受ける人への支援、事業者への支援の拡大、一般農業への支援など、さらなる支援を行うこと。
- 4、就学援助金について、国の通達に従い3.4.5月分のみなし給食費の支給をおこなうこと。
- 5、避難所の感染対策を検討すると同時にマスクなどの備蓄を行うこと。